



プロ野球選手が凱旋 大崎ソフトの練習始めに参加

1月3日(水)、本町出身の松山竜平選手(広島東洋カープ)と篠田大聖選手(イースタン・リーグ/新潟アルビレックスBC)、榎田大樹さん(埼玉西武ライオンズ二軍投手コーチ)が大崎ソフトボールスポーツ少年団の練習始めに参加し、団員18名やOBの中高生と交流しました。

3人は指導者や子どもたち、保護者の前で今年の抱負を語った後、ノック練習や恒例のホームラン競争などで交流を深めました。

主将の大崎小学校6年生野元義絆^{よしき}さんは「厳しいプロの中で頑張っている先輩たちは僕たちの誇りです。先輩たちが育ったこのグラウンドで練習できることを誇りに思ってこれからもたくさん練習し、甲子園やプロ野球選手をめざして頑張ります」と力強く話しました。

他にも多くのOBが後輩たちのためにグラウンドを訪れ、それぞれの目標に向かって1年のスタートを切りました。



昔遊びに熱中 地域住民と楽しく交流

1月13日(土)、野方小学校1・2年生34名が、「サロン^{つらみせ}turamise」とサロン「きらり佐土原いきいき」の14名から昔の遊びを教わり、交流を深めました。

同校体育館には、こま回しやけん玉、羽子板、だるま落とし、お手玉などの道具が準備され、児童は遊び方やコツを教わり、日頃遊びなれない遊びに興味津々の様子で楽しんでいました。

こま回しを体験した2年生の川崎栄人さんは「前にこま回しをしたときは上手くできなかったけれど、今日はおじいちゃんたちに教えてもらい、できるようになった。嬉しい」と話してくれました。



菱田小、環境省の 「環境教育・ESD実践動画100選」に選定

環境教育・ESD実践動画100選に菱田小学校が制作した動画が選ばれ、12月20日(水)、環境省九州地方環境事務所から表彰状が授与されました。これは、環境省が環境教育・ESD(持続可能な開発のための教育)の優良事例の動画を教育現場で実践する人たちのヒントとなるように発信するものです。同校は、大崎町リサイクルシステムについての学びをテーマにした動画を制作しました。福森真一校長は「児童にとっては分別は生活の一部ですが、リサイクルシステムの本当の良さを実感しながら広げていってくれる人材になってほしいです」と話されました。動画は、環境省のホームページ及び公式YouTubeチャンネルで視聴することができます。